

浸透液循環システム提供

マークテック 業界初、独自装置で

アルコニックスゲル（西本圭吾社長）は、金
工で非破壊検査装置
やマーキング装置を手
掛けるマークテック
（本社＝東京都大田区、
西本圭吾社長）は、金
工部品などの蛍光浸透
探傷試験（PT）で、
浸透液と洗浄廃水の両
方をリサイクルするシ
ステムの販売を開始し
た。洗浄廃水を再利用
するPT装置は販売さ
れているが、浸透液も
再生するのは業界初と
いう。同社は検査で発
生する洗浄廃水から浸
透液を回収し、有価物
として買い取る。回収
した浸透液は成分調整

の上、再生浸透液とし
て市場に戻す。顧客と
の間で浸透液を循環
し、環境負荷低減に貢
献する考えだ。

蛍光浸透探傷試験
は、浸透液を洗い流す
工程で大量の洗浄廃水
が発生する。廃水再利
用型のPT装置は販売
されているものの、廃
水の完全なリサイクル
ができず悪臭が残る
上、再利用に必要な油
水分離フィルターをは
じめとしたランニング
コストが課題だ。

これに対し、同社は
「完全リサイクルPT
装置」と「専用蛍光浸
透液」を開発。これら
を用いて洗浄廃水を再
生したところ、洗浄水
の寿命は従来の約1週
間から約4週間に改

善。洗浄廃水から水と
油分を分離するフィル
ターの交換頻度も、従
来の1〜2週間から6
カ月以上に伸びた。

これらの機能改善に
加えて、洗浄廃水から
浸透液を回収する機能
も搭載されている。回
収した浸透液は、新品
同様の性能に調整し
て、顧客に販売するサ
ービスも開始する。

本装置の導入コスト
は従来品と大きく変わ
らない。また、洗浄水
やフィルターの寿命は
従来品より長くなる
上、産廃処理の負担も
なくなり、ランニング
コストの低減が見込め
る。

同社はPT装置と浸
透液、買い取りサービ
スをセットにした「完

全リサイクルPTシス
テム」として展開する。
増田隆秀・研究開発部
長は「浸透液と装置の
両方を開発している当
社の強みを生かした」
と胸を張る。

主要ターゲットはア
ルミ等の素材メーカー
や自動車メーカーなど
を想定。これらの産業
では拠点の近くでのサ
ービス展開が求められ
る。そこで全国のアル
コニックスのグループ

企業へ活用し、地方拠
点を設けることも検討
中だ。顧客獲得に向け、
グループシンナジーを発
揮する。

国内の新規PT設備
販売は、年間10〜20件
程度の市場だが、増田
部長は「年1〜2件の
成約を目指す」と意気
込む。得意とするPT
分野の知見をリサイク
ルに展開し、循環型社
会の実現を目指す。



完全リサイクルPT装置の一部

株式会社産業新聞社 発行

日刊産業新聞 第21052号（2024年11月13日）